

# 福山大学留学生が交代



卒業したイヴァノヴァさん(左)と入学したクルモアさん

福山で初のブルガリアからの留学生、イヴァノヴァ・ツヴェテリナさんが4年間の留学生生活を終え、卒業。続いてクルモア・ツヴェテリナさんが入学しました。3月20日には二人の歓送迎会をにぎやかに行了しました。

## クルモアさんのメッセージ

私は日本文化、芸術、音楽がとても好きです。ブルガリアでは首都のソフィア大学の日本学科を勉強しながら、茶の湯のけいこをしました。2001年の秋に初めて来日し、日本人の心、想像力、やさしさや日本文化のきれいさは心にしみていました。

私は日本の大学に入学したため、奨学金をいただいた徳洲会国際奨学財団と相談して福山大学の試験を受けました。バラの町福山とカザンラクが長い間交流していることも分かりました。

福山ブルガリア協会の中村会長をはじめ、皆様からとても大事なサポートをもらいました。優しい人々の心、お世話、美しい自然に恵まれた福山にきてよかったです。皆様に心からどうもありがとうございます。



2005福山ばら祭りに来福する、  
バラの女王と日本語弁論大会優勝者の略歴。

### 第11回日本語弁論大会優勝者

**シルヴィア・イワノヴァ・アンドリーヴァ**  
Silvia Ivanova Andreeva



●優勝したスピーチ

#### ブルガリアのかわいい遺産

外国人と話しているとき、しばしば「ブルガリアの代表的なものは何ですか」と質問されます。私はいつも、ししゅうとか、ヨーグルトとか、ラキアと答えます。でも、私が本当に代表的だと思うのはトラバントです。トラバントは、1950年頃、東ドイツで作られていた車です。

この不思議な自動車のことを、ブルガリア人は、愛情を込めて「かご」と呼ぶことがあります。かごと同じ材料で作られているからです。トラバントの車体は、木と紙とプラスチックを混ぜて作られています。軽いので、運転中に動かなくなっても、簡単に家(うち)まで押して運ぶことができます。しかし、いなかでは、いつもヤギやブタに気をつけなければなりません。動物たちはトラバントの車体の味が好きですから、放っておくと半分ぐらい食べられてしまうのです。

昔、ブルガリアでは、東ヨーロッパで作られた車しか輸入することができませんでした。トラバントが一番安かったので、たくさんの人がこの車を買いました。今でも値段はとても安いです。100レバぐらいで買えます。それなのに外国人は、お金が足りなくて買うことができません。実は、トラバントは外国では骨董品なのです。だから、とても高いのです。決して快適な車とは言えませんが、ブルガリアではまだまだ現役で活躍しています。

トラバントは、もう50年もの間ブルガリア人とともに歩んできました。トラバントはブルガリア人と同じ性格です。他の車より、けんきよで、つつましいですが、とてもいじっぱりです。道に困難が多くても、負けずにいっしょうけんめい走ります。トラバントは、今ではブルガリアの「かわいい遺産」になりつつあります。

トラバントについての笑い話もたくさんあります。最後に、その中のひとつを紹介します。

「自分が持っているトラバントに満足していますか」と聞かれました。

「ええ、もちろん。でも、ひとつだけ、車の色のことでまいているんです。黄色なんです。窓を開けていると、通りがかりの人に手紙を入れられるんですよ。私のトラバントが郵便ポストだなんて、ジョーダンじゃないわよ!まったく。」

ご清聴ありがとうございました。

出生地：プロヴディフ  
現住所：カザンラク  
学歴：カザンラク Ekzarx Antim I 高校卒業後、ヴェリコ・タルノヴォ大学日本語学科に入学  
現在2年生に在学中  
語学：日本語、英語、ドイツ語  
趣味：登山

### 2004年バラの女王

**ボヤナ・イワノヴァ・チャカロヴァ**  
Boyana Ivanova Chakalova



学歴：2004年5月 Nikola Obreshkov (カザンラク) 自然科学・数学高校卒業

趣味：詩を書くこと

語学：英語、ドイツ語

## バラの女王、日本語弁論大会優勝者が参加する 2005福山ばら祭り期間中の主な行事

**ローズパレード**  
5月15日(日) 13:00~  
南町・妙法寺前交差点出発

**オープニングセレモニー**  
5月14日(土) 10:00~  
緑町公園・ばら花壇

**学校訪問**  
5月12日(木)

**歓迎交流会**  
5月14日(土) 19:00  
ウェルサンピア福山